

FIRE GRAPHIX[®]

取扱説明書

WOOD STOVE 450 DAICHI MODEL WOOD STOVE 650 DAICHI MODEL

工事される方へ

- 不適切な工事・分解などが行われた場合、ストーブ、建築物の不具合・破損は保証を致しかねますのでご注意ください。
- 施工上の責任は当社では負いかねますので、施工に起因する不具合が発生した場合、貴社の保証規定により修理をお願いいたします。
- 建築物への開口作業や支持金具を固定する下地などに関しては建築業者とよくお打ち合わせの上、行ってください。
- 工事をされる方は、労働安全衛生規則に従ってください。設置場所の状況や機器（重量や形状）、煙突設置の高所作業時などは怪我に十分注意してください。
- 据え付け完了後、チェックリストに基づいて再確認を行ってください。
- 設置後は、設置に使用した部材や図面は記録として保管してください。



安全のために必ずお守りください

お客様による据え付け移設工事の厳禁

据え付けや移設工事は専門業者に依頼し、お客様ご自身では行わないでください。
設置は火災予防条例、建築基準法などの法令の基準があります。

屋内排気の禁止

屋内への排気は煙が充満して危険です。必ず屋外に排気してください。

使用中の注意と禁止

使用中に水などをかけないで下さい。水蒸気で火傷する恐れがあります。
また、変形やガラスが割れる原因になります。

安全のため耐熱グローブをご使用ください。

お子様やペットが近寄らないように注意し、市販のゲートなどをご利用ください。

本体や煙突を素手で触らないで下さい。高温のため火傷する危険性があります。

引火しやすい服装でのご使用はしないでください。

ストーブに近づくだけで衣服が溶けたり焦げたりすることがございますのでご注意下さい。

改造の禁止

本体、煙突の改造は火災や破損の原因となります。

据え付け禁止場所

- ・ 水平ではない場所、不安定な場所
- ・ 付近に燃えやすいものがある場所（薪、寝具、家具、カーテンなど）
- ・ ほこりや湿気が多い場所
- ・ 換気が行えない場所
- ・ 人がいない場所

乾燥した薪以外の使用の禁止

含水率は 20% 以下の薪を使用してください。

海水に浸かった薪、ペンキ、薬品、接着剤など化学処理された木材、ガソリン、オイル、灯油、プラスチック、ビニール、発泡スチロール、紙類、生ゴミなどは使用しないようお願いします。

温度管理

本体天板の温度が 300℃以上で連続使用すると破損や火災の原因になります。

灰の処理

灰は完全に鎮火したことをご確認ください。不燃性の灰入れバケツに入れフタをし、72 時間以上経過したあとに処理をお願いします。



安全・快適にご使用いただくために

設置する床の保護

ストーブの重量に長期間耐えられる水平かつ安定した場所に不燃材料で有効に保護してください。レンガやタイルを使用する場合は隙間が生じないように目地をモルタルで埋めてください。床の保護が十分でない場合、燃えた灰の落下や輻射熱で火災の原因になります。

初焚き

初めの数回は、塗料が焼けて煙と匂いが発生しますので、お部屋の換気をしながら焚いてください。この時、本体が完全に冷めるまで触れないようにしてください。誤って触れた場合、塗料が剥がれてしまうのでご注意ください。

安全確認

就寝時やお出かけの際は、ドアが閉まっていることを確認してください。火の粉が飛んだり、薪が転がり落ちる危険性があります。

空気量を確保する

屋外側の給気口に雪やゴミによって塞がれないように注意してください。

メンテナンス

定期的に本体、煙突のメンテナンスを行ってください。(年に1回程度)
正常な燃焼が行われず、破損や火災の原因となります。

火傷を負った場合

ご使用中に火傷を負った場合は、すぐに患部を冷やしてください。その後、速やかに医師の診断をお受けください。

フェンスの設置

お子様やペットがいるご家庭の場合、事故防止のためフェンスを設置してください。

自然災害の対応

大きな地震や落雷があった場合、本体及び煙突の点検をお願いします。
安全が確認出来ない場合は、ご使用をお控えいただき、専門業者の点検をご依頼ください。

保護手袋の使用

ドアの開閉時や薪の投入時などの燃焼中、また燃焼後も暫くは高温となっていますので必ず保護グローブを使用してください。

非常時の備え

消火器、煙感知器で火災に対応できるように設置をおすすめします。



ストーブの安全な設置について

ストーブ及び、煙突の設置は建築基準法及び消防法に従って正しく設置してください。
設置に問題があると煙突火災や住宅火災につながり危険な状況を起こす場合があります。

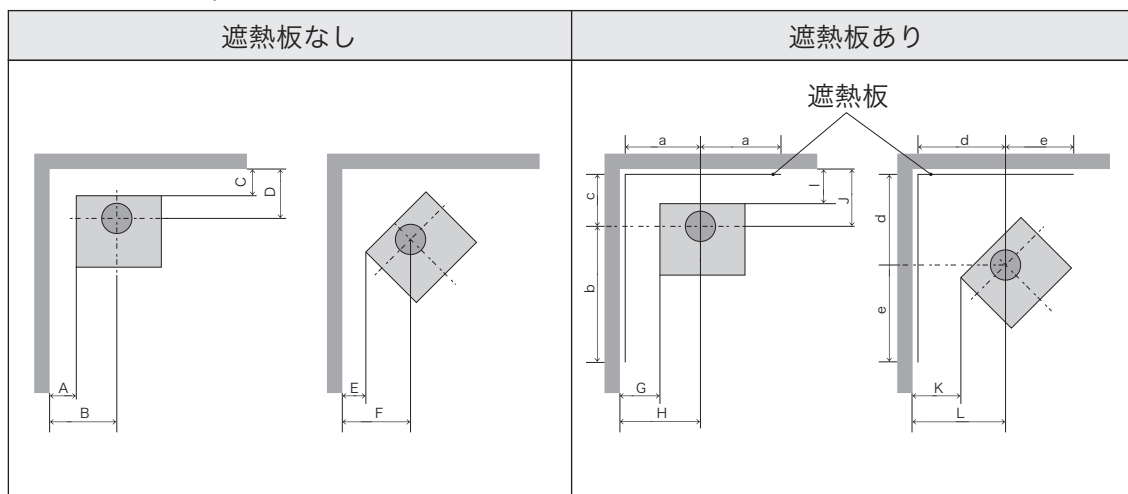
国土交通省告示第 225 号に従う場合 (内装制限の緩和措置)

内装制限の準不燃材料による仕上げに準ずる仕上げとして、ストーブによる熱の影響範囲 (可燃物燃焼部分) に内装の仕上げ、及び下地がかからないように離隔距離を確保してください。

もしくはかかる範囲の内装仕上げ、および下地を 25mm のスペースによる空気の対流層がある、特定不燃材料で作られた遮熱板で保護し、必要な離隔距離を確保してください。

告示 225 号に従えば、熱の影響範囲にかからない部分の内装仕上げに木材を使うことができます。

クリアランスチャート



遮熱板：25mm 以上の空気層のある不燃材壁

遮熱板なし						モデル名	遮熱板あり							
離隔距離							離隔距離							
A	B	C	D	E	F		G	H	I	J	K	L		
572	797	618	737	618	844	WOOD STOVE 450 DAICHI MODEL	300	525	300	419	300	543		
725	1050	865	984	865	1167	WOOD STOVE 650 DAICHI MODEL	300	625	300	419	300	614		
							遮熱板の幅							
							a	b	c	d	e			
							WOOD STOVE 450 DAICHI MODEL	720	1043	394	519	574		
							WOOD STOVE 650 DAICHI MODEL	989	1492	394	589	855		
							遮熱板の高さ (下部空気層 25mm 含む)							
							側面			背面				
							WOOD STOVE 450 DAICHI MODEL	814			847			
							WOOD STOVE 650 DAICHI MODEL	1180			1251			

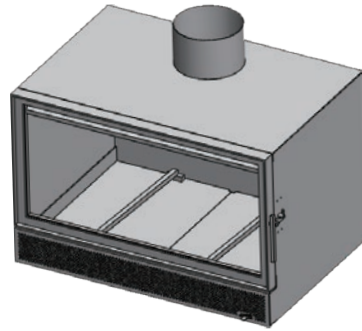
スタンド使用の場合は高さをプラスする

(単位 mm)

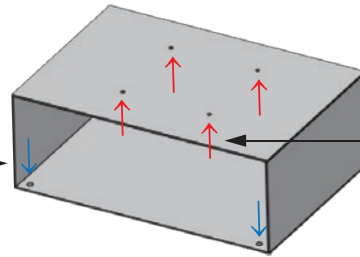
■ 本体の設置

必要工具

6mm 六角棒レンチ



付属しません
コーチスクリュー
M8x65mm 以上推奨



付属品
キャップボルト
M8x25

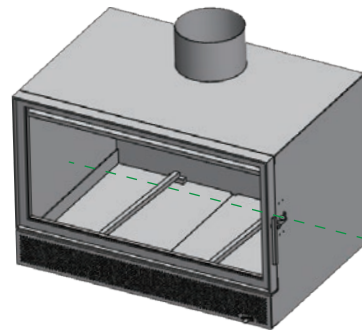


ステーションナリースタンド 450/650

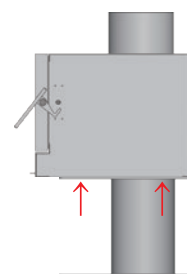
コーチスクリューの打ち込み

あらかじめあいている穴にコーチスクリューを打ち込みます。下穴をあけてから施工してください。

床が土間やタイル、天然石の場合
コンクリートアンカーの施工基準に従い、打ち込み用の下穴を開けて打ち込み、しっかりと締め込んでください。

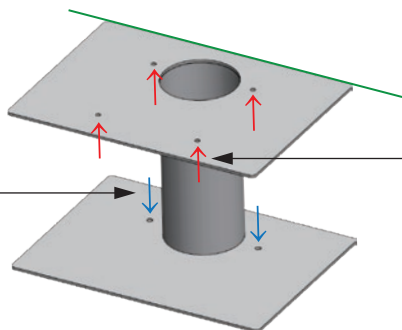


横から



背面で位置を合わせます

付属しません
コーチスクリュー
M8x80mm 以上推奨



付属品
キャップボルト
M8x25



ポールスタンド 450/650

■ 外気導入アダプター (オプション) の取付け

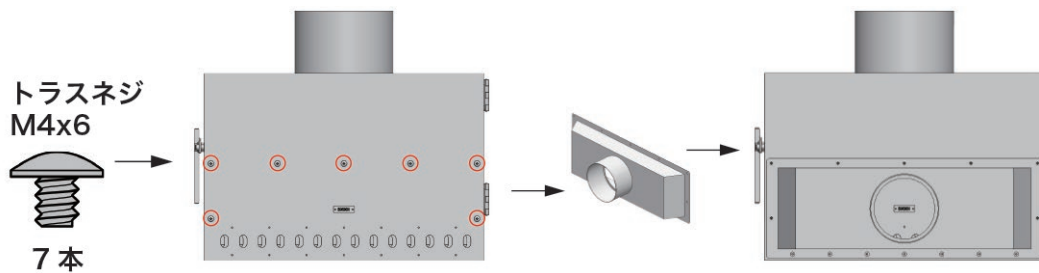
本体に取付け済みのネジを外し、外気導入アダプターを取付けます。

必要工具

No.2 プラスドライバー

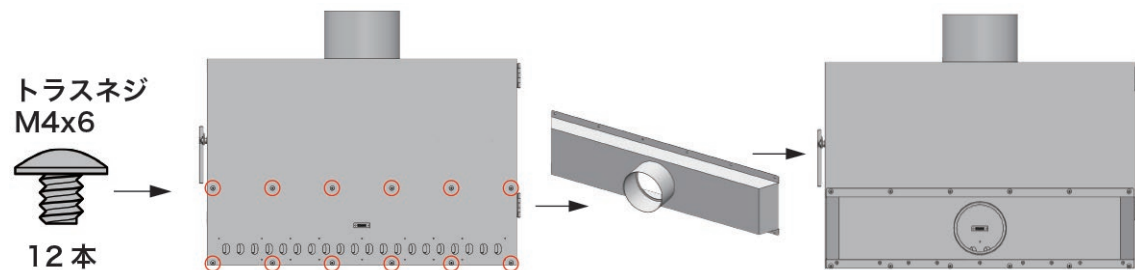
WOOD STOVE 450 DAICHI MODEL

※トラスネジは本体に取付け済みです。外してご使用ください。



WOOD STOVE 650 DAICHI MODEL

※トラスネジは本体に取付け済みです。外してご使用ください。





初めてご使用になる場合

本製品は、焼付塗装を行っていますが、耐熱塗料は加熱することで本来の性能を発揮します。

(セラミックコート塗料メーカーの見解)

初だきをせず天板に器具を乗せたりしますと塗装が剥がれます。

初だき中は塗料が柔らかく定着していません。

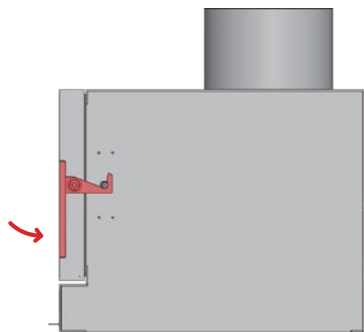
天板にケトルなどを乗せるのは初だきを行い、2回目以降からお願いします。

また初だき時は塗料や防錆油が焼けて臭いや煙が出ますが、これは異常ではありません。

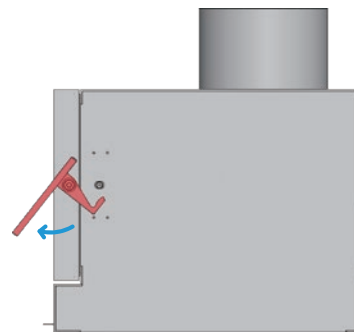
薪3本くらいを目安に臭いや煙が消えるまで燃やしてください。

初だき後は、完全に冷ましてください。

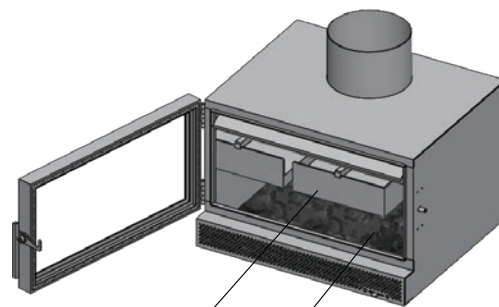
また、この時に薪を燃やし尽くして灰をロストルの下に入れることで断熱効果やストーブを長持ちさせることに繋がります。ロストルの上は空気が通るので灰はうっすら残してください。



扉ロック



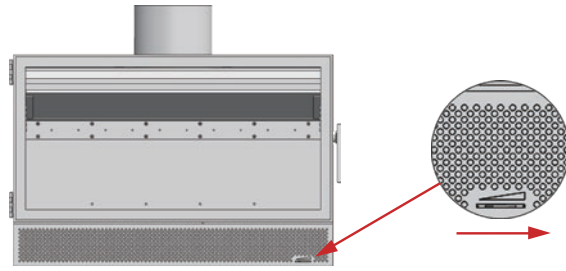
扉アンロック



ロストル 灰

■ 着火手順 通常運転

ストーブを操作する時は、必ず耐熱グローブを使用し素手では絶対に触らないでください。



ストーブ本体正面の右下にある空気調整レバーを右側に全開にします。

■ 準備するもの



耐熱グローブ



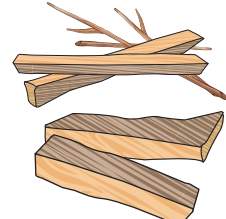
薪トング



ストーブ温度計



着火剤



小枝 / 中太 / 太薪
(含水率 20% 以下)

■ 着火手順



④ 着火剤に点火する



① 炉床に乾燥した小枝を空間をとりながら置く



⑤ 火力が十分に上がるまでドアは開放する



② 十分に焚きつけを置いたら底面に着火剤を置く



⑥ さらに本薪を上に載せ、ドアをゆっくりと閉める



③ さらに本薪を焚きつけの上に1本置く



チェックリスト

	点検項目	点検内容	✓
ストーブと周辺	床の保護	ストーブ設置面の保護範囲は十分ですか 防火上有効な措置がされていますか	
	可燃物との離隔距離	ストーブから周囲の可燃物までの離隔距離は十分ですか	
	換気設備と燃焼空気	燃焼に必要な空気の取り込み・換気は行えますか	
	保守、管理上のスペース	点検、修理に必要なスペースはありますか	
	設置の適否	ストーブは水平に設置され、がたつきはないですか 転倒防止対策として床に固定されていますか	
	備品	備品、オプションは正しく設置されていますか	
煙突	可燃物との離隔距離	煙突から周囲の可燃物までの離隔距離は十分ですか	
	頂部の高さ	煙突の高さは十分ですか	
	固定 / 接続	煙突は確実に接続され、固定金具で固定されていますか	
	保守 / メンテナンス	煙突の保守、メンテナンスが容易に行える設置になっていますか	

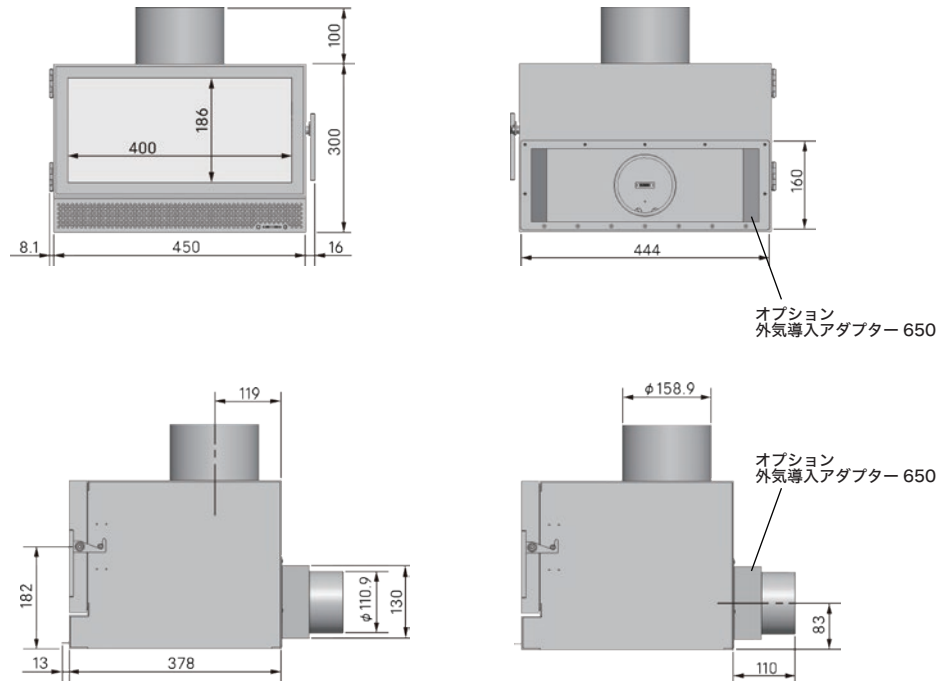


トラブルシューティング

症状	原因	対応
薪が燃えない	薪が湿っている	乾燥した薪 / 含水率 20% 以下のものを使う
	太い薪のみを使用	細い薪から太くしていく
	給気を絞っている	空気調整レバーを開く
	煙突が詰まっている	煙突掃除をする
	換気扇を使用している	換気扇を止める / 窓を少し開ける
薪の消費が早い	空気調整レバーが全開	空気調整レバーを調整する
	ドアが開いている	ドアを閉め空気調整レバーで調整する
	ガスケットが消耗している	ガスケットを交換 (隙間から空気の流入を防ぐ)
	煙突が長すぎる	煙突の長さかダンパーで調整する
煙が逆流する	煙突詰まり	煙突掃除をする
	強風が吹いている	煙突を長くする
	煙突の曲がりが多い / 横引きが長い	煙突の引き回しを見直す
	換気扇を使用している	換気扇を止める / 窓を少し開ける
ガラスが曇る	薪が湿っている	乾燥した薪 / 含水率 20% 以下のものを使う
	空気調整レバーを閉めている	空気調整レバーを開け温度を上げる
煙突が早く詰まる	薪が湿っている	乾燥した薪 / 含水率 20% 以下のものを使う
	焚く温度が低い	200°C以上で焚く (不完全燃焼となりタールや煤が多くなる)
	煙突の曲がりが多い / 横引きが長い	煙突の引き回しを見直しドラフトを強くする
暖かくない	薪が湿っている	乾燥した薪 / 含水率 20% 以下のものを使う
	薪が少ない	中太の薪を増やす / 空間に対して本体が小さい
	給気を絞っている	空気調整レバーを開く

■ 本体の基礎知識

WOOD STOVE 450 DAICHI MODEL/SPEC



WOOD STOVE 450 DAICHI MODEL

寸法	W450mmxH300mmxD378mm
重量	本体 :52kg
材質	鋼板
表面処理	耐熱黒塗装
投入可能な薪サイズ	40cm
ガラス	耐熱ガラス
煙突	Φ150
燃焼方式	クリーンバーン 輻射式
出力	3750kcal/h
生産国	日本
オプション	外気導入アダプター 450 / 専用スタンド

(単位 mm)

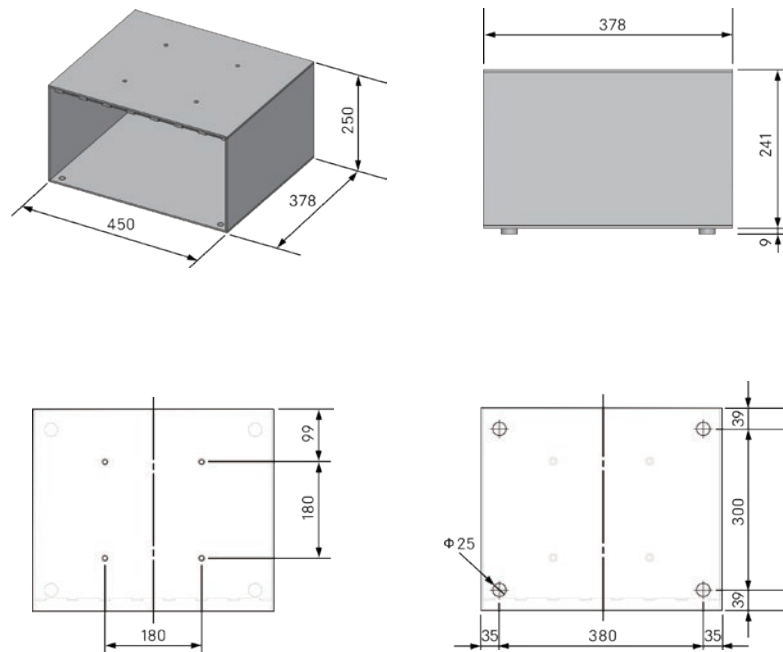
WOOD STOVE 450 DAICHI MODEL 専用オプション

ステイショナリースタンド 450

重量：23kg

材質：鋼板

表面処理：耐熱黒塗装

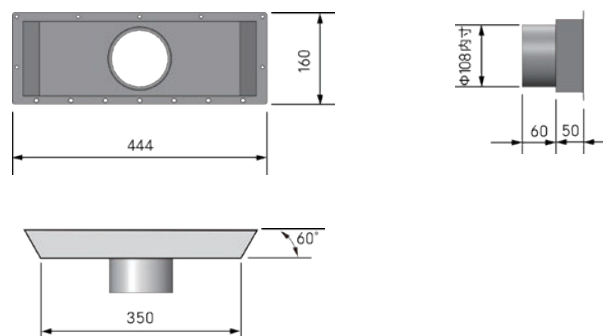


外気導入アダプター 450

重量：1.2kg

材質：ステンレス

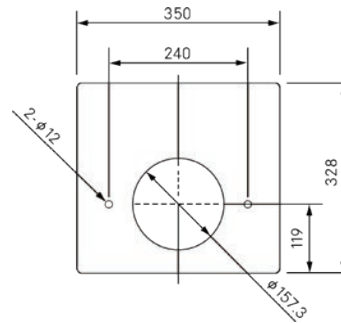
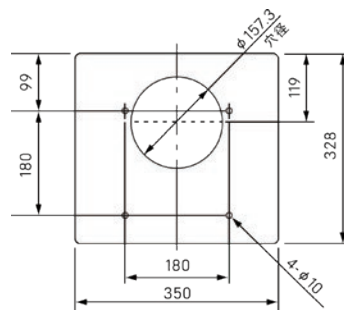
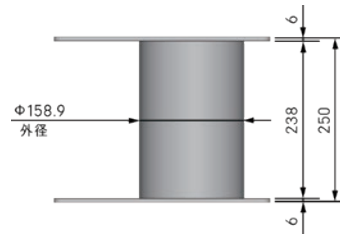
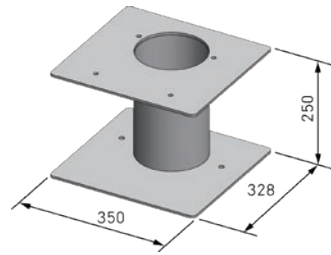
表面処理：耐熱黒塗装



(単位 mm)

WOOD STOVE 450 DAICHI MODEL 専用オプション

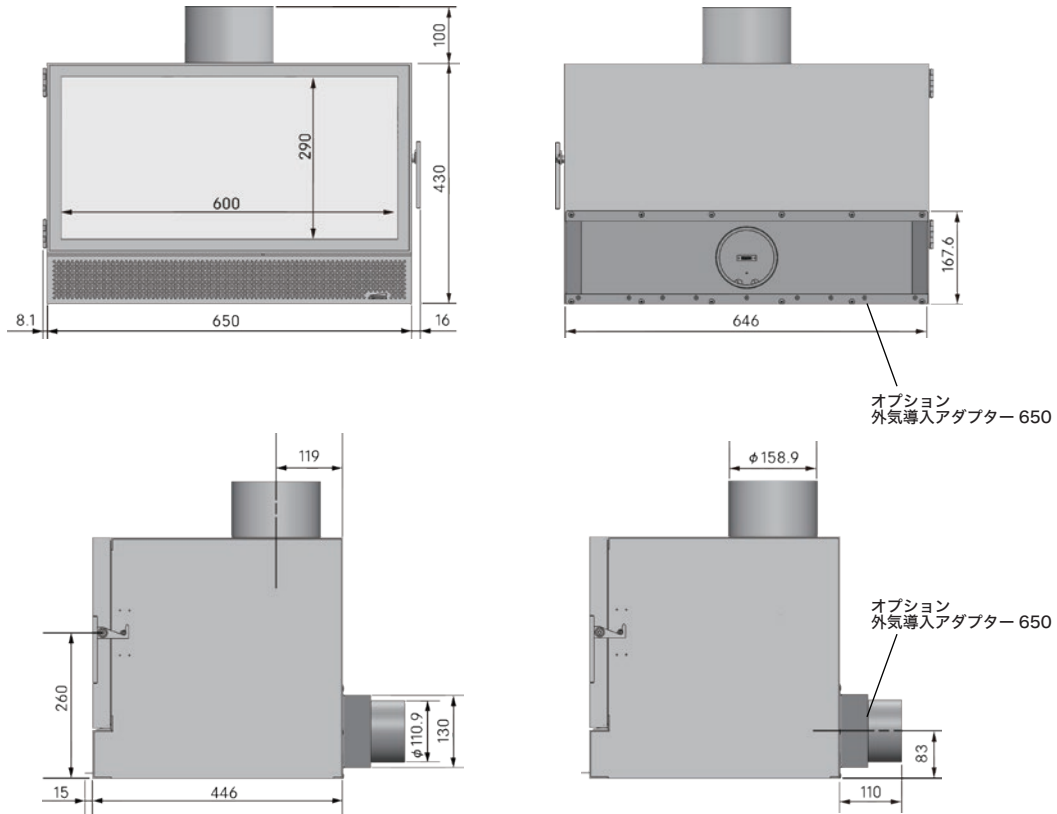
ポールスタンド 450
重量：11kg
材質：鋼板
表面処理：耐熱アクリル黒塗装



(単位 mm)

■ 本体の基礎知識

WOOD STOVE 650 DAICHI MODEL/SPEC



WOOD STOVE 650 DAICHI MODEL

寸法	W650mmxH430mmxD446mm
重量	本体 :100kg
材質	鋼板
表面処理	耐熱黒塗装
投入可能な薪サイズ	55cm
ガラス	耐熱ガラス
煙突	Φ150
燃焼方式	クリーンバーン 輻射式
出力	7990kcal/h
生産国	日本
オプション	外気導入アダプター 650 / 専用スタンド

(単位 mm)

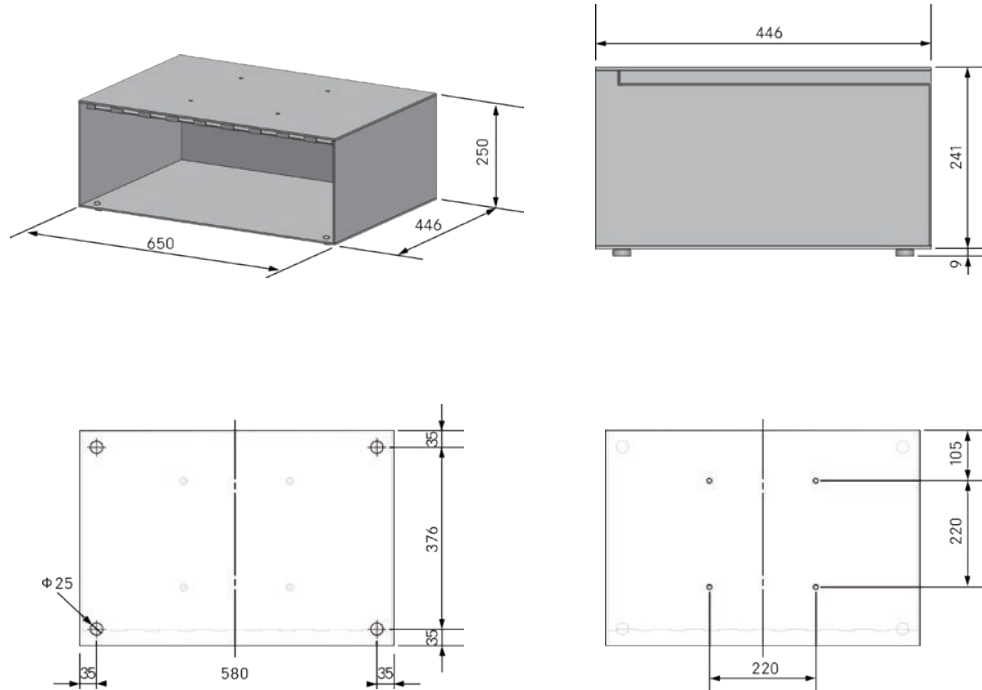
WOOD STOVE 650 DAICHI MODEL 専用オプション

ステーションナリースタンド 650

重量：35kg

材質：鋼板

表面処理：耐熱黒塗装

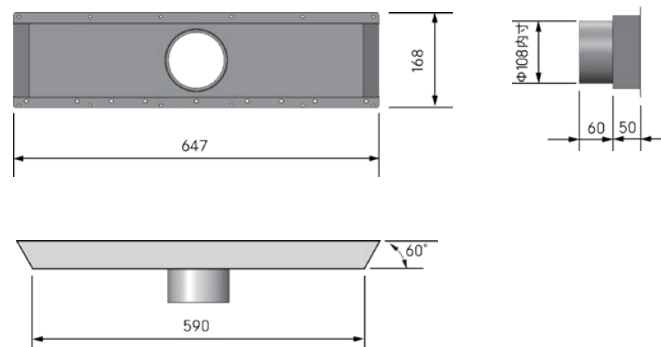


外気導入アダプター 650

重量：1.7kg

材質：ステンレス

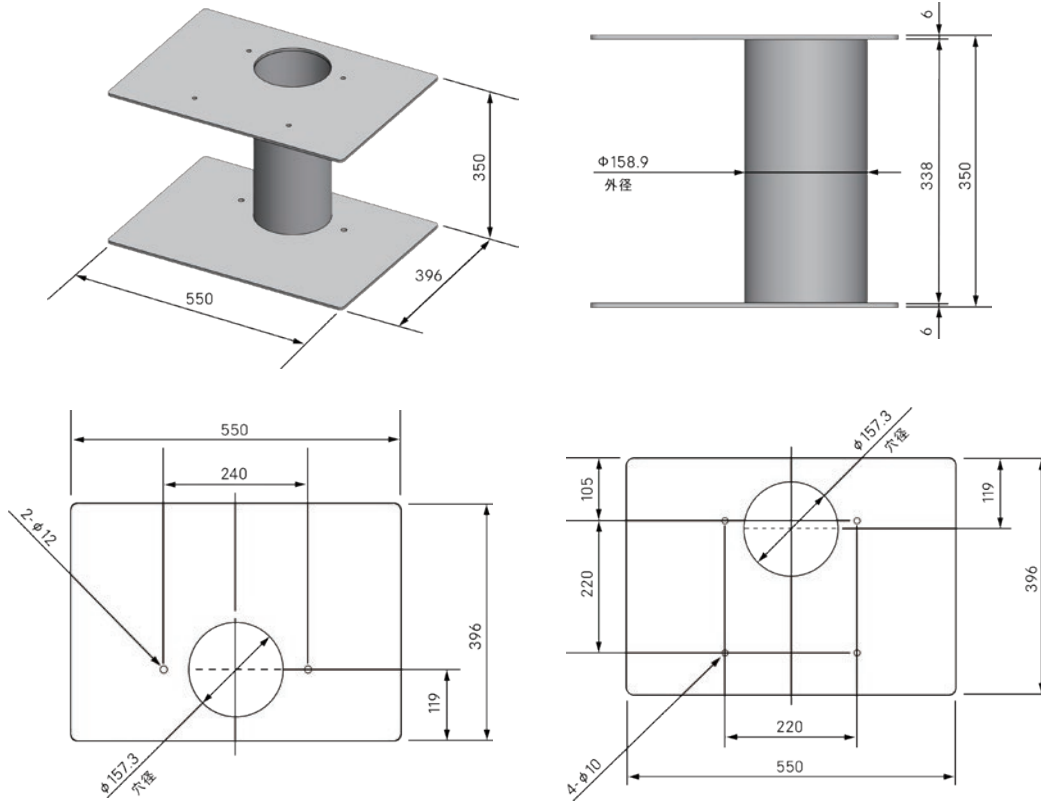
表面処理：耐熱黒塗装



(単位 mm)

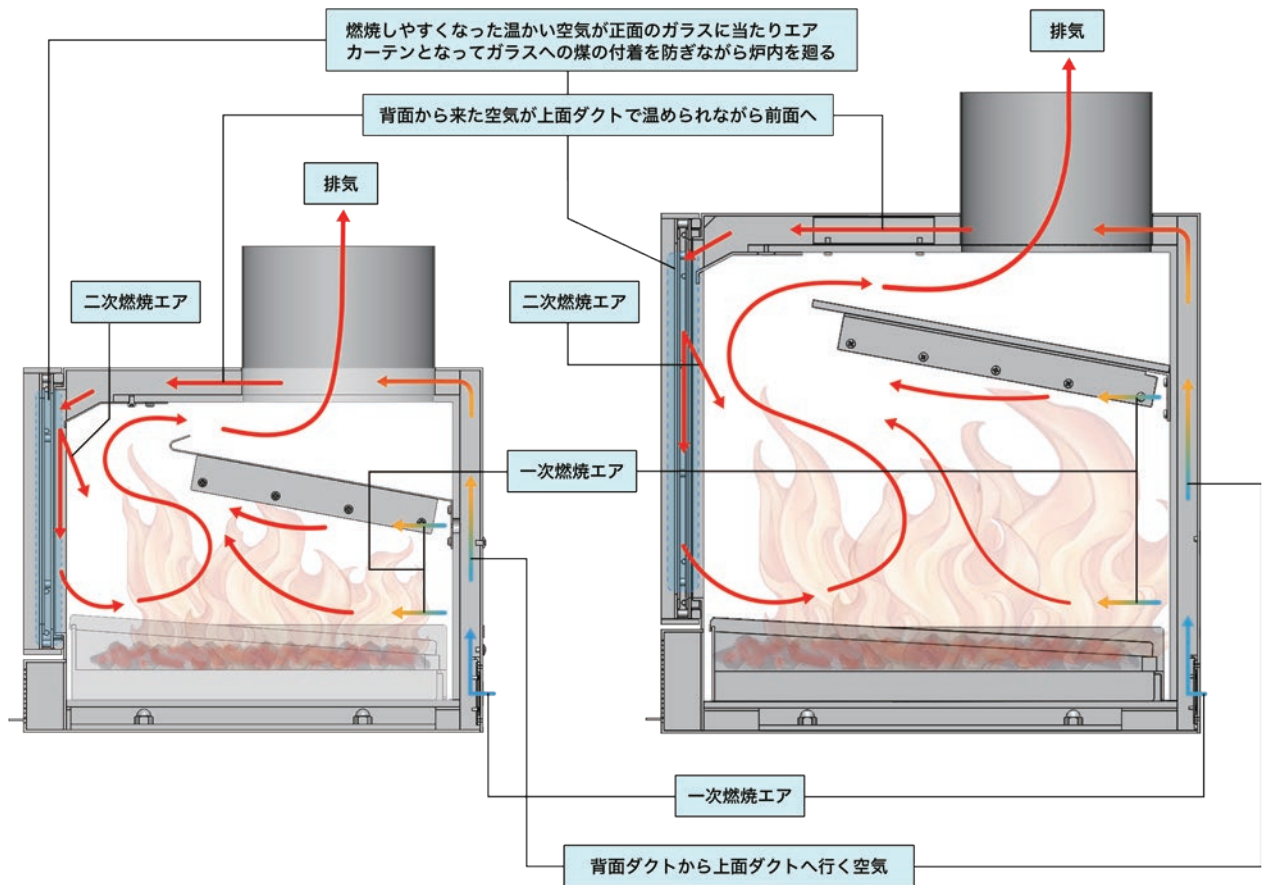
WOOD STOVE 650 DAICHI MODEL 専用オプション

ポールスタンド 650
重量：20kg
材質：鋼板
表面処理：耐熱アクリル黒塗装



(単位 mm)

Airflow



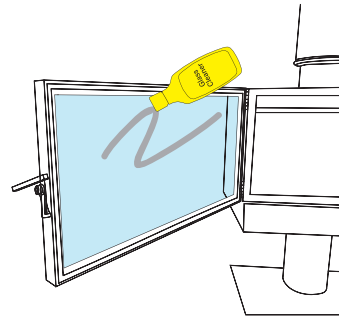
■ メンテナンス

ガラスのクリーニング

専用クリーナーを使ってガラスの内側を柔らかい布などで綺麗にします。

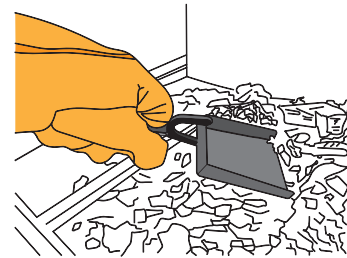
クリーナーの使用方法に従ってください。

外側はあまり汚れないので、乾拭き程度で構いません。市販の洗剤の目が粗いものはガラスを傷つけることがありますので使用しないでください。



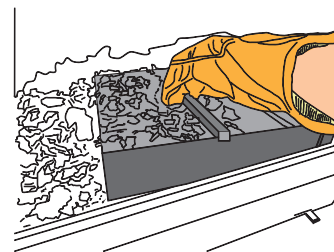
灰の取り出し 1

通常の使用で溜まった灰は、スコップで取り出します。ロストルの下に敷くことで炉床の保護になります。



灰の取り出し 2

ロストルを持ち上げて取り除くことができます。素材が鉄の場合、湿気はサビの原因となりますのでシーズンオフの際は、灰は全て取り除いてください。



灰の処分

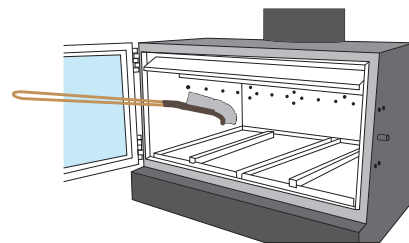
ゴミとして出す場合は、自治体にご確認ください。できるだけ小まめに処分し、1回の量を少なくします。灰は肥料として使用することができます。

内部の清掃

炉内やロストルにこびりついた煤をワイヤーブラシでこすり落とします。

シーズンオフでは全ての灰を取り除き除湿剤などで内部を乾燥させてください。

最後に掃除機を使用し全ての灰を取り除きます。



■ 保証について

WOOD STOVE 450 DAICHI MODEL 商品発送から保証期間 2 年
WOOD STOVE 650 DAICHI MODEL

[保障対象]

初期不良または正常な使用状況で発生した製品の不具合

[対応方法]

修理または新品・新品部品への交換をさせていただきます。その際に、シリアルNo・お名前をご提示下さい。

保証期間内であれば無償になります。

また、以下のような場合は、保証期間内であっても保証の対象外となりますのでご了承ください。

1. 落下などの不慮の事故による製品の破損
2. 誤った使い方や粗雑な扱いによる製品の破損
3. 使用上の不注意による破損
4. 経年劣化による、歪み、塗装の色あせ・剥がれ、素材表面の焼け

[注意事項]

・保証期間は商品発送日からとなります。商品開梱またはご使用開始日からではありません。

弊社でお客様のシリアルNoで管理しています。

・送料はすべて、弊社が負担します。

[不具合発生時]

・メールでお問い合わせください。

online@fire-graphix.com



DAICHI

SUPPOSE DESIGN OFFICE Co.,Ltd.
建築家・起業家
代表取締役 谷尻 誠 PRODUCE

FIREGRAPHIX[®]

株式会社寿産業
〒257-0015
神奈川県秦野市平沢 462-1
E-mail:online@fire-graphix.com

